



# くまがや



10th  
KUMAGAYA  
くまがや ~新たなステージへ~

# 市議会だより

Kumagaya City Council Newsletter

6月定例会

平成27年8月1日発行

第40号

問い合わせ 熊谷市議会事務局 〒360-8601埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1 ☎048-524-1573 (直通)  
E-mail gikaijimukyoku@city.kumagaya.lg.jp http://www.city.kumagaya.lg.jp/shigikai/

昭和20年8月14日深夜、米軍の空襲により、市街地の3分の2が焼き尽くされ、266名が亡くなりました。特に星川付近の被害は甚大でした。戦後の昭和25年8月16日、犠牲になつた人々を慰霊するために、とうろう流しが行われました。現在も戦争の悲惨さを忘れないために、毎年8月16日に行われています。



星川のとうろう流し

## 主な内容

- ☆ 平成27年第3回定例会の概要
  - ☆ 一般質問(要旨)等
  - ☆ 委員会での主な質疑
  - ☆ おしえて!市議会等
  - ☆ 次回定例会案内、編集後記等
- |   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| 2 | 5  | 12 | 14 | 15 |
| 頁 | 頁  | 頁  | 頁  | 頁  |
| 4 | 11 | 13 | 15 | 16 |

議会インターネット中継は熊谷市議会ホームページから

熊谷市議会

検索

議会を傍聴しましょう。次の定例会は9月3日からの予定です。



富岡信吾議長

熊谷市ラグビーワールドカップ2019運営基金条例、  
工事請負契約の締結について（大里中学校、妻沼小学校、  
吉岡小学校屋内運動場建設工事）などを可決

平成27年6月市議会定例会は、6月5日から24日までの20日間を会期として開かれました。

この議会では、「平成27年度熊谷市一般会計補正予算」などの市長提出議案25件を審議し、17件を原案可決、7件を承認、1件の人事案件に同意しました。また、議員提出議案3件、委員会提出議案1件を原案どおり可決しました。

6月定例会の概要

初日（6月5日）の本会議では、市長からの提案説明が、次のとおりありました。

「今定例会は、改選後初の定例会だが、新市誕生10周年となる本年を皮切りに、これからの4年間は、本市の将来を左右する多くの重要課題に取り組んでいく時期である。ラグビーワールドカップ2019の開催成功とこれを生かしたまちづくり、公共施設

アセットマネジメントの具体化、人口増対策といった課題は、子供たちの世代、30年後、50年後の本市のあり方につながる極めて重要な判断が求められる

られるものであり、議員皆様の格別なる御指導、御協力をお願いする。

特に、ラグビーワールドカップ2019の開催は、本市を、そして埼玉県を全世界に発信できる千載一遇のチャンスであり、世界中から訪れる人たちが、安心して試合を観戦できるように、埼玉県や関係団体、市民皆様と一丸となって、環境整備や熊谷らしい「おもてなし」の準備を進め、今後の地域活性化につなげていく。

今年度は、さまざまな熊谷市誕生10周年記念事業が開催されており、これから、うちわ祭をはじめ、各地域の祭りや花火大会など恒例の夏のイ

ベントが次々と開催されるが、10周年記念の冠を付け、例年以上に盛り上がることを期待している。

5月の月例経済報告では、「景気は、緩やかな回復基調が続いている」としており、また、内閣府が発表した1月から3月の実質国内総生産（GDP）速報値は、2期連続のプラス成長となっている。本市では、平成26年度の市税収入は、前年度を上回る見込みとなっている。個人消費は、「持ち直しの兆しがみられる」との基調判断であるが、真の景気回復に至るには、雇用の確保や消費の拡大が不可欠であるため、プレミアム付商品券の発行など、景気回復に資する施策を積極的に推進する。

今回の補正予算では、ラグビーワールドカップ2019の準備及び運営に要する経費に充てるため、新たに設置する「ラグビーワールドカップ2019運営基金」への積立金や開催自治体分担金などや、

国のマイナンバー制度の開始に関連する経費を計上した。そのほか、毎日一万歩運動を実施するための経費や三尻地区での小・中学校と地域との実践的な防災教育を行うための経費を計上した。このほか、皆様からいただいた寄附金を各基金に積み立てるものである。

一般議案では、「熊谷市税条例等の一部を改正する条例」などを提案する。



小林一貫副議長

## 審議の概要

6月5日の本会議では、条例案や補正予算案に対する質

疑が行われた後、各議案は所管の常任委員会に付託され、11日には総務文教常任委員会および環境産業常任委員会において、12日には市民福祉常任委員会および都市建設常任委員会において、付託された議案についてそれぞれ審査が行われました。

最終日(24日)の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過および結果が報告され、質疑、討論を行い、全て原案どおり可決されました。また、人権擁護委員候補者について、同意しました。

詳しくは、4ページの平成27年第3回定例会審議結果をご覧ください。

## 特別委員会を設置

最終日6月24日に、議員提出議案として、次の3つの特別委員会の設置について上程され、審議の結果、原案どおり可決されました。

それぞれの特別委員会の委員について、議長から指名が行われ、正副委員長の互選が行われました。

ラグビーワールドカップ2019まちづくり特別委員会

◎森 新一 ○守屋 淳

加賀崎千秋 福田 勝美

三浦 和一 黒澤三千夫

石川 広己 権田 清志

小島 正泰 影山 琢也

地方創生調査特別委員会

◎新井 正夫 ○関口 弥生

栗原 健昇 大久保照夫

松本 富男 松岡 兵衛

桜井くるみ 野澤 久夫

小鮎 賢二 千葉 義浩

議会改革特別委員会

◎松本貢市郎 ○須永 宣延

大山美智子 小林 一貫

林 幸子 閑野 高広

中島 勉 腰塚菜穂子

鈴木 理裕

(◎委員長、○副委員長)

## 会議規則の一部改正

最終日に、委員会提出議案として、市議会会議規則の一部を改正する規則が可決されました。女性議員がより活躍できる環境を整備するため、会議の欠席等に関する規定に、出産を明記しました。

熊谷市議会会議規則の一部を改正する規則新旧対照表 (改正箇所のみ記載)

改正後	改正前
(欠席又は遅参の届出) 第2条 議員は、傷病、出産、交通の途絶その他の事由により会議に欠席又は遅参しようとするときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。	(欠席又は遅参の届出) 第2条 議員は、 <u>事故のため</u> 会議に欠席又は遅参しようとするときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。
(欠席又は遅参の届出) 第82条 委員は、傷病、出産、交通の途絶その他の事由により会議に欠席又は遅参しようとするときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに委員長に届け出なければならない。	(欠席又は遅参の届出) 第82条 委員は、 <u>事故のため</u> 会議に欠席又は遅参しようとするときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに委員長に届け出なければならない。

## 議員表彰者の報告

全国市議会議長会ならびに埼玉県市議会議長会から、次の議員が永年の功績を称えられ、永年勤続議員として表彰されました。

二十年表彰

新井清次前議員

新井昭安前議員

十年表彰

福田 勝美議員

森 新一議員

桜井くるみ議員



左から、新井清次前議員、新井昭安前議員、福田勝美議員、森新一議員、桜井くるみ議員

# 平成27年第3回定例会 審議結果

○:賛成・×:反対・欠:欠席・退:退席

議案番号	議席番号・議員 議案件名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
			影山 琢也	鈴木 理裕	千葉 義浩	腰塚 菜穂子	小島 正泰	権田 清志	中島 勉	石川 広己	小耐 賢二	高田 高広	関野 淳	守屋 幸子	林 幸子	関口 弥生	野澤 久夫	黒澤 三千夫	須永 宣延	小林 一貫	桜井 くるみ	松本 貢市郎	三浦 和一	大山 美智子	森 新一	富岡 信吾	福田 勝美	松岡 兵衛	松本 富男	新井 正夫	加賀崎 千秋	大久保 照夫	栗原 健昇
第34号	専決処分の承認を求めることについて (平成26年度熊谷市一般会計補正予算(第8号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
第35号	専決処分の承認を求めることについて (平成26年度熊谷市熊谷都市計画事業土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
第36号	専決処分の承認を求めることについて (熊谷市税条例等の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
第37号	専決処分の承認を求めることについて (熊谷市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
第38号	専決処分の承認を求めることについて (熊谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
第39号	専決処分の承認を求めることについて (熊谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
第40号	専決処分の承認を求めることについて (熊谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
第41号	平成27年度熊谷市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第42号	熊谷市税条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第43号	熊谷市都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第44号	熊谷市立学校設置条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第45号	熊谷市立児童クラブ条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第46号	熊谷都市計画事業籠原中央第二土地区画整理事業施行規程に関する条例を廃止する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第47号	熊谷市ラグビーワールドカップ2019運営基金条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第48号	工事請負契約の締結について (防災行政無線(固定系)デジタル化整備工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第49号	工事請負契約の締結について (熊谷市立大里中学校屋内運動場建築工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第50号	工事請負契約の締結について (熊谷市立妻沼小学校屋内運動場建築工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号	工事請負契約の締結について (熊谷市立吉岡小学校屋内運動場建築工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号	財産の取得について (水槽付消防ポンプ自動車(II型))	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号	財産の取得について (高規格救急自動車)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号	財産の取得について (高度救命処置用資器材等)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号	財産の取得について (消防デジタル無線受令機)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第56号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第57号	市道路線の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第58号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	「平和安全法制整備法案、国際平和支援法案の廃案を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退
請願第2号	「安全保障関連法案に反対する意見書」の提出を求める請願	不採択	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退
請願第3号	「農業改革に関する意見書」の提出を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提議案第2号	ラグビーワールドカップ2019まちづくり特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提議案第3号	地方創生調査特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提議案第4号	議会改革特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案第4号	熊谷市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません

※影山琢也議員は平成27年5月25日の繰上補充選挙会において当選しました。※請願1号、2号、3号は不採択とすることを審議したものです。

# 市政、 ここが知りたい!

## 一般質問 (要旨)



一般質問は、定例会で、議員が議案に関係なく市政全般について、市の方針をたずめます。

6月定例会では、17日、18日、19日の3日間、次の16人の議員により行われました。

数多くの質問の中から、1議員につき1項目を選び、質問と答弁の要旨をご紹介します。

なお、答弁の文末の( )内は、主な所管課です。

### 熊谷市高齢社会対策 基本計画の中から



みづらかずいち  
三浦和一議員  
(公明党)

**問** 地域包括ケアシステムとは、一体どのようなものか。

**答** 介護が必要な高齢者が、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、医療・介護・福祉などのサービスを、関係者が連携協力して、一体的、体系的に提供する体制である。

**問** 地域包括ケアシステムをつくる上で、一番大きな障害となっているものは何か。

**答** 医療機関・介護機関の連携が不可欠で、医療施策に係るノウハウの蓄積が少ない中、短期間に集中して実施しなければならぬことである。

**問** その問題を解決していくために、市では、今後どのような対策が必要だと考えているのか。

**答** 長寿いきがい課、健康づくり課が中心となり、地域包括支援センターや医師会、民生委員や自治会長、ボランティアなどの地域住民等と連携を図りながら、ケアシステムの構築を進めていく。

市内における訪問診療ができる医療機関数と、今後必要となる訪問医の想定数を伺いたい。

**答** 訪問診療が可能な医療機関数は、県の情報では64機関である。

今後の必要数は、国が今後示すデータにより、県が医療需要を推計することから、現時点では不明である。

**問** 地域包括支援センターと在宅介護支援センターの役割について伺いたい。

**答** 地域包括支援センターは、地域内の高齢者に対し、介護予防や権利擁護等の相談業務を行うもので、在宅介護支援センターは、在宅の要介護高齢者やその家族等に対して、在宅介護に関する総合的な相談に応じるものである。

**問** 市では地域包括支援センターの機能強化をどう考えているのか。

**答** 今まで以上に重要な役割を担うことから、研修等職員の資質向上を図る取り組みを支援していく。(健康づくり課、長寿いきがい課)

### 教員の読書と研修について



いしかわひろし  
石川広己議員  
(熊志会)

**問** 児童に読書を指導する教員自身の教育関連の本の定期購読など、読書の実態について伺いたい。

**答** 教員個々の実態は把握していないが、定期的に発行される教育関連の本を、学校や個人で購入し、教員が読む機会を持つようになっている。

**問** 自分の力量を高めたいという、熱意ある教員の民間研修への参加実態について伺いたい。

**答** 個々の実態は把握していないが、市独自の「指導の重点・努力点」をはじめとする教育に関する資料や冊子、リーフレット等を多数作成、配付し、指導の充実を図っている。

また、熊谷市教育研究会の授業研究をはじめ、教育委員会主催の研修会を開催していることや、中堅以上の教員には、研究協力員や指導員とし

(次ページ上段へ続く)

市政を問う

て熊谷教育の推進役を果たしてもらうなど、多くの研修の機会を設定している。

**問** 生徒指導上の悩みを抱えている教員の早期発見と対応方法について伺いたい。

**答** 一人一人の教員との面談や教室訪問等で、早期発見に努めるようにしている。

また、管理職が親身になって相談に応じることはもとより、市で作成した「生徒指導マニュアル」の活用や、ベテラン教師がさまざまな角度から具体的なアドバイスを行うなど、当該の教員の実態に即した対応をとっている。

(学校教育課)

○その他の質問項目

「『地域善隣事業』への熊谷市の取組について」

「市内公立義務教育学校の2学期制について」



将来を見据えた学校教育での取組について



あつし 淳 議員 (公明党)  
もりや 守屋 (公明党)

**問** 携帯電話やスマートフォンに関するアンケート結果について。

**答** 昨年の調査では、所持率は、小学校約39%、中学校約53%。利用時間は、小学校では、30分未満が53%、2時間未満が34%、4時間未満が9%、4時間以上が4%、中学校では、30分未満が26%、2時間未満が44%、4時間未満が20%、4時間以上が10%である。

**問** 熊谷市発信の「保護者のスマートフォン『4つの実践』」の経緯と概要について。

**答** 「熊谷の子どもたちはこれができます!」『4つの実践』と『3減運動』の中の「3減運動」の一つである「携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします」を受け、子供たちだけでなく、保護者が一緒に実行することで、さらに子供たちの意識を高めようと、

市PTA連合会が独自に4つの実践としてまとめたものであり、ここには、「大人である保護者が手本を示すべきである」との強い決意が込められている。



**問** 「スマートフォン『4つの実践』」の周知の進捗と今後の計画について。

**答** 本年2月に新聞に取り上げられ、市報4月号でも広報したところである。

また、各学校のPTA活動

の中で、リーフレットの中に「家庭で実践」の欄に具体的な家庭での約束事を記入している。

さらに、教育委員会では、11月の「いじめ防止啓発月間」などさまざまな機会を通して周知したい。

(学校教育課)

高齢者の見守り活動について



こしづか なほこ 議員 (民主・社民の会)  
なほこ 穂子 議員 (民主・社民の会)

**問** 単身高齢者の実態数把握は、任意記入の単身高齢者台帳に基づいて行っているのか伺いたい。

**答** 単身高齢者台帳に基づいて把握している。

**問** 平成21年度から25年度までの孤独死の合計件数はどれくらいか。また、市における孤独死の定義や、孤独死情報の公開について伺いたい。

**答** 市で把握している総件数は5件である。また、国等では決まった定義はないが、市では、一人暮らしをしていて、誰にもみとられずに亡くなる方を「孤独死」と考えている。

また、孤独死情報は、定義も明確ではないことから公開していない。

**問** 高齢者の見守りに関して、民間企業へも協力要請を行っているが、どのようなシステムで機能しているのか。その

中で、協定書を締結している業者は何社か伺いたい。

**答** 業務により訪問した際、郵便物や新聞がたまっていない等の異変があった場合は、市に連絡するようになっていて、現在、市内にある宅配便業者、新聞の販売店、お弁当等の宅配業者等、合計48店舗に依頼している。また、協定書を締結している業者は1社である。

**問** 民生委員の定数および実数や人員確保の対応策、委員への人的サポートについて伺いたい。

**答** 定数、実数ともに321人である。また、定数確保の対応策は、従来どおり自治会長からの推薦によって定数確保に努めていきたい。

また、民生委員は、市民と行政とのつなぎ役を担っているため、困ったことがあった場合には、関係行政機関への連絡や相談の他、各地区民生委員・児童委員連絡協議会や事務局が相談や対応に当たっている。

(長寿いきがい課、福祉課)  
○その他の質問項目  
「水路の安全対策について」  
「ゆうゆうバスの運行について」

市政を問う

医療の整備と拡充を求める



鈴木理裕議員 (清新会)

高度医療拠点の整備は、

市民から特に要望の高い事柄であり、当市の政策課題である。市民の健康を守り、日常生活の安心と安全を担保する見地からも、県に対し早急な整備の要請を強めるべきではないか。

救急医療、小児医療、周産期医療の体制整備を県に対して要望している。

市民が安心して暮らせるよう、高度医療拠点の整備を、今後も要望していく。

生活習慣改善を促進する取り組み状況と数値的な成果は。

熊谷市第2次健康増進計画」を策定し、55項目の指標に目標値を定め、事業を推進している。例えば、乳がん検診の受診率では、平成24年度18・7%、平成25年度20・1%、平成26年度23・6%と推移している。

各種健康診査などが受診

できる体制の現況を問う。

がん検診は、熊谷市医師会に委託し、市内87カ所、国民健康保険加入者を対象とした特定健診及び後期高齢者を対象とした長寿健診も、医師会に委託し、市内82カ所で受診が可能である。

また、30歳以上の国民健康保険加入者および後期高齢者を対象の人間ドック、脳ドックの検査料助成は、人間ドックでは31機関、脳ドックでは13機関で可能である。

疾患の早期発見に向けた健康診査受診率向上の具体策について問う。

がん検診は、市報等さまざまな方法でお知らせしているほか、胃がん検診は、40歳から5歳刻みで、70歳まで個別に受診券を送っている。特定健診では、未受診者には受診勧奨のはがきを通知している。

健康づくり課、熊谷保健センター、保険年金課)

その他の質問項目

「市民の命を守る防災・減災体制の強化について」

「クラウドファンディング(ネット募金)を活用した、事業財源の確保と市民活動支援を」

スポーツ観光推進のまちづくりについて



黒澤三夫議員 (民主・社民の会)

スポーツイベントによる観光や経済効果をどのように評価するか伺いたい。

平成23年度の日本陸上競技選手権大会や全日本卓球選手権大会の際に市内周遊バスツアーを企画したが、参加者は2大会の4日間で119名にとどまるなど、「スポーツ観光と観光地」を、結び付けることは本市においては難しいと痛感したところである。こうしたことから、現在では市内のさまざまな観光資源について、個々の魅力を高めながら全体的に熊谷市の魅力を発信していくことを主眼として取り組んでいる。中でもスポーツイベントは、スポーツ文化公園のラグビーや陸上競技をはじめとして、さくら運動公園のヒートベアーズ等々、さまざまな大会、試合が組みま

れ、スポーツ全体が人を引き付ける「磁石」として、大きな観光源であると認識している。また経済的にも、選手や観戦者の交通費、宿泊費をはじめ、飲食費や土産代、レジャー費など、大きな効果が期待できると考える。

スポーツ観光に特化したMICE(マイス)制度導入について

本市の都市機能を生かすには、方向性は一致していると考え。現在国内ではグローバルMICEとして、東京、横浜、京都、神戸、福岡が戦略都市として選定されているが、都市規模の違いはあるとしても、スポーツ施設や文化施設など集客施設の集積という本市の特長を生かして取り組みたい。(商業観光課)

MICEとは

企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

切れ目ない

子育て支援について



林幸子議員 (公明党)

妊娠・出産・乳幼児・幼児期と子育てのライフステージに応じた切れ目のない支援策が必要と考えるが、市の見解を伺いたい。

本年3月には、全ての子供が健やかに成長することを目的として、「子ども・子育て支援事業計画」を策定した。近年では、ライフスタイルの変化や地域コミュニティの希薄化が進み、子育て環境が大きく変容している。子供は本市の宝であるので、子育てのさまざまなライフステージを通じて、安心して子供を生み、育てられる環境を整えることが重要であるとの考えから、市政運営の最重要施策として位置付けており、この「子ども・子育て支援事業計画」に基づく事業を着実に推進していく。

利用者支援事業の取り組みと今後の考え方は。

(次ページ上段へ続く)

市政を問う

**問** こども課に設置している子育て支援総合窓口において、利用者支援事業を実施することとしている。今後の考え方としては、専門的な相談員の養成や配置に努めるとともに、実施内容等についても、国から示されている事業内容を踏まえて検討したい。

**問** 地域子育て支援拠点設置の目的と役割は。

**答** 目的は、少子化、核家族化の進行、地域のつながりの希薄化など、子育てをめぐる環境が大きく変化する中、家庭や地域における子育て機能の低下や、子育て中の親の孤独感や不安感の増大などに対応するため、地域における交流を通して、不安感等を緩和し、子供の健やかな育ちを支援することである。また、その役割は、おおむね3歳未満の児童および保護者を対象に、気軽かつ自由に利用できる交流の場として、子育てに不安や悩みを持つ親に対する相談・助言、育児や子育てに関する情報提供を実施している。

(母子健康センター・こども課)

○その他の質問項目  
「熊谷駅北口の景観について」

熊谷市の  
地方創生への取組と  
地方創生交付金について



議員 森 新一 (熊志会)

**問** 人口減少への取り組みは。

**答** 総合振興計画において「人口増」をリーディングプロジェクトに位置付け、子育て環境の充実に向けて、今年度は新たに三世帯同居・近居の促進や、転入者の住宅取得に対する固定資産税等の課税免除といった取り組みも始めており、課税免除については、6月1日時点で167世帯、538人の転入があった。今後もより効果的な施策を検討実施する。

**問** プレミアム付商品券について。

**答** 市誕生10周年記念事業として、プレミアム率20%、額面総額は過去最大規模の24億円とし、多くの方が公平に購入できるように専用はがきによる予約販売方式とする。

**問** 観光振興に向けた施策は。  
**答** 新たに全国販売される「るるぶ埼玉」に本市情報の

みで構成される別刷りの小冊子を閉じ込むほか、シテイセーブルスに重点を置いた新観光情報誌の発行、さらに専門アドバイザーの活用により、新たな地域資源の発掘、ブランド強化に努め、本市の魅力を全国発信する。

**問** 地方移住の推進と子育て、教育支援は。

**答** こども医療費の助成、保育所・学童保育や地域子育て支援拠点施設の充実のほか、乳児世帯への全戸訪問の推進、予防接種の情報を配信するモバイルサービスを新たに導入するなど、子育て世帯の転入者が安心して子供を生み、育てられる環境を整えるためのさまざまな施策を実施していく。また、本市では、知・徳・体の学力日本一を目指しており、中学生の学力底上げを図る「くまなびスクール」を、全中学校でスタートさせるなど、こうした教育環境の充実を図ることも、本市への移住動機の一つになり得るものと考え、積極的に取り組む。

(企画課・商業観光課・こども課・学校教育課)

○その他の質問項目  
「ラグビーワールドカップ2019熊谷市開催地に決まる」

環境資源を大切に  
熊谷を目指して  
〜今できること〜



議員 関口 弥生 (公明党)

**問** 環境に関する取り組みについて

**問** 学校における取り組みは。

**答** 小・中学校において学校の授業の中で、環境衛生協議会の作成した映像資料を活用したり、市内の衛生センターや浄水場、ムサシトミヨ保護センターなどの施設見学をしたり、講師を招いての出前授業を受けたりしている。

**問** 水環境の取り組みについて

**問** 下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の平成26年度末の処理率は。

**答** それぞれ43・4%、4・9%、24・9%で、全体の処理率は、平成37年度の目標値に対して、73・2%である。

**問** 資源循環型社会の取り組みについて

**問** 市民一人当たりごみ排出量とリサイクル率県内順位は。  
**答** ごみ排出量は平成24、25年度ともに多い順で1位、リサイクル率は両年度ともに高

い順で28位である。  
**問** ごみの分別収集の啓発は。  
**答** 市報、ホームページ、くらしのカレンダー、メルマガ等でお知らせしているが、本年7月には、ごみの分別マニュアルを一新して市報と同時に配布を行い、わかりやすい分別収集に向けて啓発を図っている。

**問** レジ袋の削減については。

**答** 今年度スーパーマーケット等との意見交換を行い、協力体制等について協議したい。

**問** ごみを減らすために今できることは。

**答** ごみの減量は自治会等の協力をいただきながら、市民・事業者・市のパートナーシップを充実し、日常生活では生ごみの水切りや食べ残しをしない、マイバッグを使用するなど、身近にできることを実践し、より一層3Rを推進することが重要と考える。

(学校教育課・環境推進課)  
平成27年度



環境ポスター最優秀作品



市政を問う

保育所入所について



千葉義浩議員 (民主・社民の会)

**問** 保育所入所決定までのタイムスケジュールとその周知方法は。

**答** 4月1日入所の場合是一次申し込みを前年の11月に受け付け、結果を2月に、一次で決定しなかった方を含め二次申し込みを2月末に締め切り、結果を3月にそれぞれ保護者に通知している。入所手続きの周知方法は保育課と各行政センター担当窓口で配布している「保育のしおり」のほか、市ホームページや市報で行っている。

**問** 第一希望の保育所に入所できた人数は全体で何人くらいか。

**答** 本年4月1日の入所決定者588人のうち、76%の447人である。

**問** 認定こども園の設置促進状況は。

**答** 本年4月から国の子ども・子育て支援新制度がスタ



認定こども園 (三尻こども園)

ートし、この制度のもと、本市では、子ども・子育て支援事業計画を策定し、子育て家庭が安心して子供を産み、育てることができるよう施策を推進することとしている。この計画の中では、3歳未満の保育の受け皿を拡大するための方策の一つとして、幼稚園と保育所の良さを併せ持つ質の高い教育・保育を提供することができると認定こども園の設置促進を図っていくことが重要であると考えている。現在は1園だが、来年度以降5園以上を目標に設置促進に取り組んでいく。(保育課)

○その他の質問項目  
「住民税の特別徴収について」

子育て支援について



桜井くるみ議員 (日本共産党)

子育て支援センターについて子育て親子の交流、相談、情報提供の場として、子育て支援拠点がある。

**問** 設置状況は。

**答** 保育所内に3日型2カ所、5日型1カ所、児童館内に5日型1カ所、公民館内に3日型2カ所、大学内に5日型1カ所、商業施設内に5日型1カ所、くまびあ内に5日型1カ所の計19カ所で、概ね中学校区に1カ所開設している。

**問** 財政支援状況は。

**答** 週3日型では非常勤のみの場合、358万3千円、常勤の場合481万4千円、週5日型では非常勤のみの場合438万6千円、常勤の場合745万3千円となり、国、県、市でそれぞれ3分の1の額を負担している。

**問** 周知方法は。

**答** 市ホームページでの紹介、「子育てガイドブック」および

び「ハロー子育て」を出生届提出時に配布している。また、乳幼児健診時には地域子育て支援拠点施設の一覧表も配布している。

**問** 子育て相談ができない方のために保健師と支援拠点職員の連携ができないか。

**答** こども課の子育て支援総合窓口へ連絡いただくことにより、保健師や家庭児童相談員が相談に応じるとともに、近くの支援拠点につなげるよう支援する。

**問** こども医療費について

埼玉県内63市町村の中で、市税等の完納要件を付けているのは4自治体だけで、18歳まで無料にしている滑川町など4自治体は付けていない。子供の命に格差をつけず無料化拡大していただきたい。

**問** 現在中学校まで無料であるが、どうなるか。

**答** 平成28年度中に高校卒業までに拡大する。

**問** 検討状況は。

**答** 受益負担の公平性確保のため市税等完納を要件とする等制度設計を検討をしている。(保育課・こども課)

ゴミの収集分別について



小島正泰議員 (熊谷清風会)

**問** ゴミの収集場所はどのような基準で決められているか。

**答** 熊谷市塵芥集積所設置要領に基づき、収集車が作業を行うに当たり、交通上の支障または危険がないこと、集積所1カ所当たりの利用世帯数が原則として20世帯以上であること等としている。

**問** 自治会が指定する場所の指導について。

**答** 自治会からの設置の申請後、現地調査等を行い、設置要領に適合しない場合は、場所の変更等を指導している。また、許可後に地域住民の苦情や交通事情等で問題が生じた場合は、自治会長に状況を伝え、移転等をお願いしている。

**問** ゴミの減量や有料化にはどのような見解があるか。

**答** ゴミの減量は、処理費用の削減だけではなく、環境負荷低減、持続可能な循環型社会を実現するための喫緊の

(次ページ上段へ続く)

市政を問う

課題と認識している。ゴミの有料化は、市民の皆様等に経済的な負担をお願いするため、慎重に検討しなければならぬと考えており、現時点では発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3Rを推進し、ゴミの減量と資源の有効活用を推進したい。

**問** 市のゴミの処理費用は年間一人1万4,470円。ゴミ処理は無料でなく税金が使われていることを市民は自覚すべきでゴミを減らそうとしている市民と多く出す市民の公平性が確保できないという意見もある。ゴミ袋を有料化したその収入を市民に還元した環境関連事業に使えないか。

**答** 現在、有料化を実施している市町村の多くは有料化による歳入をゴミ集積場の設置費補助金やリサイクル活動奨励金等に充当し、市民に還元している。しかし、有料化は不法投棄や自家焼却の増加、また所得の低い方への配慮等の課題もあるため、慎重に検討する。

（環境推進課）

○その他の質問項目

「子育て支援について」、「熊谷市スポーツ振興について」

婚姻届提出時から始まる熊谷市とのつながりづくりを提案したい



しずのたかひろ 関野高広議員 (清新会)

**問** 婚姻届提出数の変遷は。

**答** 平成6年1,191件、11年1,100件、16年1,088件、21年1,014件、26年859件。

**問** 婚姻届を熊谷市に出す人の要件について。

**答** 婚姻届に限らず戸籍に関する届出は、原則届出人の本籍地または所在地と定められている。

**問** 婚姻届提出を記念して市として行っていることは。

**答** インバーカーギル市から国際姉妹都市締結10周年記念に贈られた「幸せになる輪、パシフィック・リム」から顔を覗かせたお二人の写真を撮影し、写真を台紙に入れて贈呈しているほか、市と本人が費用を半分ずつ負担し苗木を購入して植樹する「人生記念樹事業」を実施している。

**問** 写真撮影に応じたカップルは何組か。

**答** 平成15年6月の開始以来27年5月末時点までの合計で約2,800組。

**問** 婚姻届受理証明書のうち、特別受理証明書の発行実績は。

**答** 平成24年度9件、25年度7件、26年度2件。

**問** 結婚情報誌やインターネット等で婚姻届の受理証明書が披露宴の際に記念として会場に飾られる事例が紹介されている。パシフィック・リム記念撮影と併せて受理証明書の取得を勧め、セットでよりメモリアル感を高め、熊谷市の祝福の意を体現したら市とのつながりをより感じると思うが、どう考えるか。

**答** 証明書の交付には手数料がかかることもあり、積極的な勧奨は難しいと考えるが、お二人の大切な記念品になることなどをホームページでお知らせする。

（市民課）

○その他の質問項目

「2019年を契機とした国際的コミュニケーション豊かな市民像を描くための目論見を問う」「利用者目線からみた新しい市民活動支援施設の検討段階について」「投票所の適正配置と18歳選挙権時代を考える」

市内の水路、排水路の管理について



おおくぼてるお 大久保照夫議員 (市政クラブ)

**問** 大里用水土地改良区が管理する市内の農業用水の現状と推移は。

**答** 奈良堰、玉井堰、大麻生堰、成田堰、御正堰、吉見堰と荒川左岸を併せ、501キロメートルである。また、水路延長は、平成17年の土地改良区合併時の数値で、現在まで増減はないが、農地転用等により大里用水で管理する用水路は、減少傾向にある。

**問** 大里用水土地改良区および市における水路整備状況は。

**答** 平成26年度までの10年間で、大里用水が行った水路整備延長は、約1万8千メートルとのことである。市では、約4千8百メートルの排水路整備を実施するとともに、大里用水が行った整備のうち、県費単独事業による約1万1千メートルの整備に対し、整備費の30%を補助している。

**問** 本市の水路整備の基本的な考え方は。

**答** 土地改良区等が実施する農業用水路の整備については、農業用水路の整備については、農業振興を図るため、一定の助成を行うとともに、農業用水路の機能が著しく低下し、現状が生活排水路となった水路については、市が地元自治会等からの要望を受け、現状を確認し、土地改良区等と協議の上、財政状況を勘案し、計画的に整備していく。

**問** 過去10年間に大里用水土地改良区で受けた、水路整備要望件数と整備状況について。

**答** 要望件数については、把握していないが、組合員等からの要望に基づき、県、市等の補助制度を活用し、整備を行っている。

**問** 過去10年間に市管理水路の整備要望件数と整備状況について。

**答** 受理した水路整備要望は61件で、このうち、28件の整備が完了し、未完了となっている要望箇所は、整備中を含め33件である。

（河川課）

○その他の質問項目

「熊谷運動公園野球場の改修について」

市政を問う

新しい熊谷づくり その16



野澤久夫議員 (清新会)

問 過去3年間の救急出動件数および搬送人員の推移は。

答 救急出動件数、搬送人員数の順に、平成24年8、385件、7、464人、25年8、783件、7、878人、26年8、809件、7、989人である。

問 過去3年間の現場到着時間と収容所要時間の推移は。

答 到着時間、収容所要時間の順に、24年8・6分、46・2分、25年9・1分、47・1分、26年9・5分、47・4分となっている。

問 直近過去3年間の搬送先病院の市内・市外の内訳は。

答 市内、市外の順に、24年5、446人、2、018人、25年5、842人、2、036人、26年5、987人、2、002人である。

問 救急出動件数、搬送人員ともに増えている理由は。

答 高齢化の進展に伴い、65歳以上の救急搬送患者数が増

えていることが考えられる。問 現場到着時間、収容時間も増えている理由は。

答 交通事情と併せ、各消防署の管轄区域を越えての出動や、収容医療機関の確保に時間を要する事案も増えていることが考えられる。

問 待機時間の推移は。

答 25年は18分42秒、26年は19分38秒である。

問 死亡、重症の件数、割合と軽症等入院加療を必要としない件数と割合は。

答 26年中、死亡164件、2・1%、重症837件、10・5%、軽症4、092件、51・2%である。

問 救急出動1回当たりの費用は。

答 26年中、1件当たり約5万2千円である。

問 ドクターカーの必要性、導入の可能性は。

答 救急現場到着後、直ちに治療を開始できることから、その必要性和有効性は認識しているが、医師等の確保が困難なことから導入は難しいと考えている。なお、今後、重症等の事案が発生した場合、ドクターヘリを要請し、迅速な対応に努めていく。(警防課)

急拡大する

ドローン問題について



新井正夫議員 (熊志会)

問 本市の公園等での規制および条例の規定はどうなっているのか。

答 本市の都市公園条例では、「都市公園の管理に支障を及ぼす行為をすること」について禁止しており、ドローンの飛行行為が、他の利用者に危険や迷惑を及ぼす行為、公園の管理運営に影響を及ぼす行為であると判断されるため、飛行行為については、原則禁止である。

問 さくらめいと、文化会館等での規制をすべきではないか。

答 条例で、管理上支障があると認められる者の利用規制を行っており、敷地内でのドローンの使用は原則禁止である。

問 小・中学校の運動会等の上空飛行禁止等について。

答 運動会をはじめとする学校行事全てにおいて、危険な

不要物を校内に持ち込むことを禁止しており、ドローンもこれに該当する。

問 花火大会等、不特定多数の人が集まる催しの上空等の規制についての考えは。

答 大観衆が集まる観光行事においてドローンの落下事故が発生した場合、重大事故につながる恐れもあるので、禁止と考えている。うちわ祭等については、主催者に禁止の要請をしていく。

問 火災現場の上空等での規制についての考えは。

答 火災現場においては、延焼や落下等により、二次災害につながる恐れもあり、消防活動の支障になりかねないことから、火災現場での飛行は禁止していきたい。(危機管理室等)

○その他の質問項目 「低投票率について」



無人航空機ドローン

現地視察を

行いました!

5月24日に、改選後の議員研修のため、大里・妻沼・江南行政センター、熊谷市スポーツ文化村「くまびあ」、水道庁舎、消防本部等の市有施設の視察を行いました。

また、6月24日には、熊谷市役所本庁舎の耐震化改修工事の現場視察を行いました。

当日は、関係執行部職員等からの説明を受けました。



本庁舎耐震化工事現場視察

## 総務文教常任委員会

熊谷市税条例等の一部を改正する条例について

**問** 旧3級品の製造たばこに係る特別税率を段階的に廃止する理由について伺いたい。

**答** 平成22年のたばこ税引き上げ後、需要が伸びている旧3級品たばこ一般のたばこの税率の整合性を図るとともに、健康増進の観点から特例税率を段階的に廃止するものである。  
(所管課・市民税課)

工事請負契約の締結について(防災行政無線(固定系)デジタル化整備工事)について

**問** 屋外子局を自治会等からの要望で9局増設予定という説明があったが、増設工事箇所の所在地等について伺いたい。

**答** 上之、原島、赤城町、拾六間、美土里町、池上、石原、弥藤吾、三本の9カ所である。  
(所管課・危機管理室)

平成27年度熊谷市一般会計補正予算(総務費)について

**問** ラグビーワールドカップ準備事業の負担金7,070万円の使途について伺いたい。

**答** 負担金のうち5千万円は、組織委員会に対して今後3年間支払う1億5千万円の開催自治体分担金の本年度分である。このほか、イングランド大会において日本大会をPRするために組織委員会が出展する「ジャパンパビリオン」への負担金や、今後、共同開催の県とともに立ち上げる準備委員会等への負担金のほか、県との合同組織とは別に、熊谷市の準備委員会を立ち上げ、そのメンバーを中心にイングラウンド大会を視察いただく経費などを見込み、総額7,070万円の負担金として計上するものである。  
(所管課・ラグビーワールドカップ準備室)

『平和安全法制整備法案、国際平和支援法案の廃案を求める意見書』の提出を求める請願および『安全保障関連法案』に反対する意見書の提出を求める請願について

委員長 幸子  
委員 林 広己  
副委員長 石川 富み  
委員 本井 高賢  
委員 松井 二浩  
委員 桜井 義  
委員 閑野 千  
委員 小野 千

### 主な意見

**賛成意見** 今回の法案の前身は3つの重大な問題があると考えられる。それは、これまで後方支援とはいえ非戦闘地域に限っていたが、この法案では自衛隊が戦闘地域に行くということ、そして武器の使用も行うということ、さらには自己防衛のためではなくて集団的自衛権の行使によって、たとえ他国が引き起こした侵略戦争であっても政府の判断で一緒に参加して戦うというものになっていることである。このような戦争に道を開く今回の法案を絶対に廃案にしたいという思いで、これらの請願に賛成をするものである。

**反対意見** 請願の中でいつでもどこでも戦争に参加できるのだというような内容があるが、そのようなことはなく、きちんとした自衛の組織としての武力の行使の「新三要件」という歯止めがかかっているものである。我が国を取り巻く安全保障環境も一層厳しさを増しており、その中で、国民の命と暮らしを守ることは政府の最も重要な責務であると考えられる。近隣諸国との対話を通じた外交努力を続けながらも、万が一への備えも怠ってはならないのである。これらのことを考えて両請願に対して反対するものである。

## 環境産業常任委員会

委員長 勝美  
委員 清志  
副委員長 昇一  
委員 権田 健新  
委員 原 一  
委員 林 影 弥生  
委員 小関 琢

平成27年度熊谷市一般会計補正予算(商工費)について

**問** ふるさと熊谷の祭り応援基金について一般の人にお知らせしているか伺いたい。

**答** ホームページ等で案内している。市民は市にふるさと納税できないと思われているが、祭りに関しても同じように寄附できることをお知らせしている。  
(所管課・商業観光課)

「農業改革に関する意見書」の提出を求める請願について

### 主な意見

**反対意見** 反対である。農業構造の変化、農業就業者の高齢化や若い担い手不足、遊休農地の増大などの状況下、家族農業経営による食料自給率向上は疑問。農業委員の任命は市町村長が年齢や性別に偏りが生じないように配慮することになっている。農協改革は現場の実態に即した自己改革を尊重するなどとしている。

## 市民福祉常任委員会

委員長 久夫 勉  
副委員長 野澤 長  
委員 中島 秋夫  
加賀崎 千子  
新井 正延  
大山 美宣  
須永 淳  
守屋 淳  
腰塚 菜穂

熊谷市立児童クラブ条例の一部を改正する条例について

**問** 熊谷市の児童の何%くらいが、児童クラブに入っているか伺いたい。

**答** 本年5月1日現在の入室児童数は、公設の児童クラブ1,618人、そのほか、民間児童保育290人である。パーセントでいうと19・28%となる。

**問** 3つの児童クラブが9月から開室ということだが、それぞれの新しく入る児童数と、そのことで待機児童は解消になるのか伺いたい。

**答** 児童数は、熊谷東小学校区30人、石原小学校区40人、別府小学校区40人、それぞれ増加する。今回整備する3小学校区とも待機児童は解消する見込みである。

(所管課・保育課)

平成27年度熊谷市一般会計補正予算(総務費・衛生費)について

**問** マイナンバーカード等交付事業の委託料1,440万円の中身について伺いたい。

**答** この委託料は、コールセンターを設置するための経費である。市民が「通知カード」を受け取ったあとには、電話等によるさまざまな問い合わせが想定される。また「個人番号カード」を交付する際には、本人確認やパスワードの設定などが必要であり、手続きがスムーズに行えるように、予約制を導入したいと考えている。コールセンターでは、これらの問い合わせや予約の受付等に対応する業務を行うが、この業務を事業者へ委託するための経費である。

(所管課・市民課)

**問** 地域介護・福祉空間整備等交付金に関して、今回868万1千円という金額は、1つの事業所に対する補助金額か、それとも、複数の事業所に対する補助金なのか、内訳を伺いたい。

**答** 今回の対象は2つの施設で、1つの施設が474平方メートルにポンプユニットの加算があり、670万9千円、もう1つの施設が、213平方メートルで、197万2千円という予算になっている。補助単価は1平方メートル当たり、9,260円である。

(所管課・長寿いきがい課)

## 都市建設常任委員会

委員長 黒澤 三千夫  
副委員長 小島 正泰  
委員 大久保 照夫  
松岡 兵衛  
三浦 和一  
松本 貢 一郎  
鈴木 理裕

熊谷都市計画事業籠原中央第二土地区画整理事業施行規程に関する条例を廃止する条例について

**問** 今回の事業の総事業費を伺いたい。

**答** 昭和57年度に開始され、完成までの25年間の事業費総額は、約141億2千万円である。

(所管課・都市計画課)

市道路線の認定・廃止について

**問** 今回の認定審査路線において、同一路線でも幅員が一定ではないものが見受けられる。幅員が一定ではない理由はどのようなものが考えられるのか伺いたい。

**答** 認定路線は、要綱により幅員4メートル以上を要件としているが、要綱制定時にすでに認定道路であった路線を認定する場合には、幅員要件は対象外である。

また、開発事業者の計画により、同一幅員ではない場合もあるが、要綱に基づき認定している。

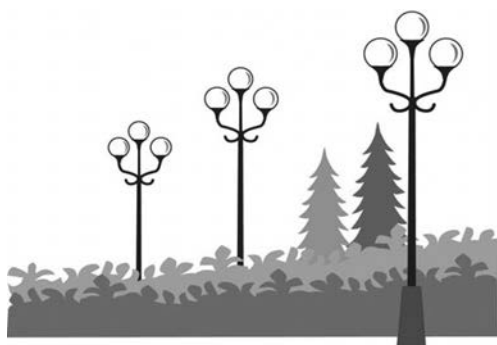
(所管課・管理課)

平成27年度熊谷市一般会計補正予算(土木費)について

**問** 今回の補正は、熊谷市みどりの基金への寄附ということによいか、伺いたい。

**答** 今回の寄附額6万円については、みどりの基金と指定があつたもので、団体からの寄附が5万円、個人からの寄附が1万円である。

(所管課・公園緑地課)



# おしえて! 市議会

みなさんから、問い合わせの多い質問にお答えします。

**問** 市議会議員の連絡先を教えてください。

**答** 市議会議員の連絡先はホームページの議員紹介のページで住所、電話番号、ファックス番号を確認できます。

**問** 市議会議員の議員定数は何人ですか。

**答** 市議会の議員定数は、熊谷市議会議員定数条例により30人と定められています。

**問** 市議会議員の任期は何年ですか。

**答** 市議会議員の任期は4年です。現在の熊谷市議会議員の任期は平成27年5月1日から平成31年4月30日です。



**問** 市議会定例会はいつ頃開催されますか。

**答** 定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)開催しています。

具体的な日程につきましては、くまがや市議会だよりや市報、市ホームページに掲載し、お知らせしています。

**問** 市議会の審議結果は何に掲載されますか。

**答** 審議結果は「市議会だより」のほか、市ホームページの市議会ページ内、本会議概要のページでお知らせしています。

**問** 議会の様子をカメラやビデオで撮影することはできますか。

**答** 許可なく写真撮影・録画や録音をすることはできません。

**問** 本会議が終わるまでは、傍聴席から出られないのですか。

**答** 傍聴席の出入りは自由です。お好きなときに退席することができます。

**問** 傍聴席で、飲食はできますか?

**答** 傍聴席での飲食はできません。飲食をされる場合は、ロビーでお願いします。

**問** くまがや市議会だよりは、いつ発行されますか。

**答** 市議会だよりは議会在が閉会した月から2カ月後の1日に発行します。例えば6月に開催された定例会の内容を掲載した市議会だよりは8月1日に発行されます。

**問** 過去の本会議会議録を見ることがありますか。

**答** 市議会では、本会議の発言を記録した会議録を作成しています。各定例会の会議録は、議会事務局、市役所本庁舎情報公開コーナー、各行政センター、各市立図書館で閲覧できます。また、市ホームページでも昭和58年以降の本会議会議録の閲覧ができます。



インターネット中継

画配信を行っています。生中継及び録画配信の対象は定例会及び臨時会の本会議となりますので、市ホームページからご覧ください。

なお、録画配信は生中継終了後3日程度(土・日・祝日を除く)で配信を開始しており、いつでもご覧になれます。

**問** 本会議が終わるときに延会や散会、閉会と言っていますが、なぜ使い分けるのですか。

**答** 会議は議事日程の進み方で会議終了の取り扱いが異なります。

その日に予定していた議事日程がすべて終了してその日の会議を閉じる場合は「散会」と宣告します。これに対して予定していた議事日程が終わり、後日に持ち越し場合は「延会」と宣告します。延会の場合、議長は本会議に諮り、延会を宣告してその日の会議を終えます。

そして最終日、すべての日程を終了する場合に「閉会」を宣告し、その定例会や臨時会のすべてが終了します。

# 熊谷市議会を

## 傍聴してみませんか？



市議会は年4回（3月・6月・9月・12月）に定例会を開催しています。（特に必要がある場合は臨時会が開催されます。）

議会では市民の皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。市政を知る良い機会として、お気軽に足を運んでみませんか？ お待ちしております。



### 傍聴者席のご案内

- 議会は市役所隣の議会棟内の議場で開催されます。
- 傍聴は無料です。

### 傍聴の手順

- ① 市役所庁舎1階傍聴者席入口（長寿いきがい課隣）からお入りください。
- ② 受付にて住所、氏名、年齢を記帳いただき、係から資料をお受け取りください。

### 傍聴の際の注意事項

- ・ 傍聴者席では静粛をお願いします。
- ・ 飲食、喫煙はできません。
- ・ 原則として写真・ビデオ撮影や録音はできません。
- ・ 本会議中、出入りは自由にできます。
- ・ 議事の進行上、休憩が入る場合があります。

### 請願・陳情の提出方法

① 原則として、左記様式で提出してください。

宛先は、熊谷市議会議長です。  
（請願書は、請願の趣旨、請願事項、提出年月日、請願者の住所、氏名を記載し、押印してください。）

② 請願には、市議会議員1人以上の紹介が必要でず。

請願書の表紙に紹介議員の署名、または記名押印を受けてください。（陳情の場合は、紹介議員は必要ありません。）

③ 請願者（陳情者）が複数の場合は、代表者を決めてください。

④ 請願・陳情の提出はいつでもできますが、請願の審査は、3月、6月、9月、12月の市議会定例会で行います。

#### 【内容】

【請願趣旨】  
○○○○○○○○  
【請願事項】  
○○○○○○○○○○○○  
以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。  
平成 年 月 日  
請願者 住所 ○○○○  
氏名 ○○○○◎  
※法人の場合には、その名称及び代表者氏名  
熊谷市議会議長○○○○宛

#### 【表紙】

○○○○に関する請願  
  
紹介議員 ○○○○◎

## 9月定例会日程（予定）

### 3日(木)本会議

- ・開会
- ・会期の決定
- ・諸報告
- ・市長の提案理由説明
- ・全議案の上程
- ・議案説明等

### 8日(火)本会議

- ・議案に対する質疑
- ・委員会付託等

### 9日(水)委員会

- ・総務文教常任委員会
- ・環境産業常任委員会

### 10日(木)委員会

- ・市民福祉常任委員会
- ・都市建設常任委員会

### 15日(火)一般質問

### 16日(水)一般質問

### 17日(木)一般質問

### 25日(金)本会議

- ・各委員長報告
- ・質疑
- ・討論
- ・採決
- ・閉会

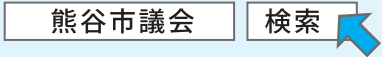
※本会議、一般質問は傍聴できます。  
 ※開会は原則午前10時です。  
 ※議事の進行上、休憩が入る場合があります。  
 ※日程は変更になる場合があります。  
 詳しいことは、議会事務局にお問い合わせください。

熊谷市議会事務局  
 TEL 048-524-1573（直通）  
 FAX 048-525-8886  
 E-mail : gikajimukyoku@city.kumagaya.lg.jp

## 熊谷市議会ホームページで、市議会をチェック!



熊谷市ホームページ内に、市議会のページを開設しています。次回定例会の予定や議員名簿、過去の会議録や本会議のインターネット中継等をご覧ください。また、行政視察の受け入れ状況や、視察の報告も掲載しています。ぜひご覧ください。



## 市議会の開催日程をお知らせしています。

熊谷市メール配信サービスメルくまの「くらしの情報」で議会の日程をお知らせしています。メールは開会前日に、パソコン、携帯電話に送信されます。登録方法は市ホームページに掲載しておりますので、ぜひご登録ください。また、熊谷市公式ツイッター、フェイスブックでも同様の内容をお知らせしていますので、ぜひご覧ください。



**お知らせ** ▶ 市政宅配講座「わくわく市議会ツアー」は、議場の耐震化工事のため、しばらくの間実施できません。

### 編集後記

ここに、市議会だより第40号をお届けいたします。改選後初の定例会となった6月定例会の概要として、一般質問や、委員会質疑、そして特別委員会の設置等について掲載いたしました。今回、ラグビーワールドカップ2019運営基金条例が可決されたことで、世界規模の大会がいよいよ近づいてきた、と実感いたします。世界各国からのお客様に、本市のすばらしさを知っていただくため、市議会も尽力してまいります。これからも、より身近な、そして、よりわかりやすい市議会だよりを目指してまいります。

### 議会報編集委員会

- ◎富岡 信吾 ○小林 一貫  
 大久保照夫 加賀崎千秋  
 桜井くるみ 守屋 淳  
 小島 正泰 腰塚菜穂子  
 鈴木 理裕  
 (◎委員長 ○副委員長)

